

東京都薬物乱用対策推進計画の改定及び東京都の取組について

(資料5)東京都薬物乱用防止推進日野地区協議会活動内容

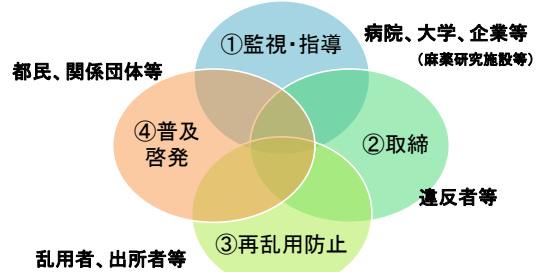


令和元年11月11日(月)
東京都福祉保健局健康安全部
薬務課麻薬対策担当

1

麻薬対策担当について

麻薬、向精神薬、覚醒剤、大麻、あへん、危険ドラッグなどの薬物の乱用防止のためにさまざまな業務を行っています。



2

本日の内容

- 1 東京都薬物乱用対策推進計画の改定
- 2 東京都の取組

3

- 1 東京都薬物乱用対策推進計画の改定

4

東京都薬物乱用対策推進計画とは？

- ・都全体で行う薬物乱用対策について、その実施する施策を総合的に取りまとめたもの。
- ・**都各局**(福祉保健局、生活文化局、教育庁、都民安全推進本部、産業労働局、病院経営本部)、**警視庁**及び**外部機関**(東京税関、関東信越厚生局、東京出入国在留管理局、東京地方検察庁)において実施

5

東京都薬物乱用対策推進計画の推移

- ・平成10年に「青少年のための薬物乱用防止対策の推進について」を策定
- ・平成15年に改定
- ・平成21年に「東京都薬物乱用対策推進計画」として策定
- ・平成26年に改定
- ・平成31年に改定(令和元年から5年までの5ヵ年計画)

6

改定の背景と理由1

- ①都内の薬物事犯検挙人員は、2千人を超える深刻な状況(高止まりの状況)
- ②若年層を中心に大麻検挙人員が2年連続過去最高を更新(全国)
- ③大麻、覚醒剤の密輸入摘発件数、押収量が増加
- ④平成27年7月に危険ドラッグ街頭販売店舗がゼロ
- ⑤インターネットやSNS等を利用し、販売方法が巧妙化、潜在化

7

改定の背景と理由2

- ⑥在留外国人、帰国子女等日本語が得意でない方の増加
- ⑦覚醒剤の再犯者率は66.1%
- ⑧刑の一部執行猶予制度(平成28年6月開始)(対象者の増加)
- ⑨再犯防止法(平成28年12月施行)(地方公共団体の責務規定の明確化)

8

改定の方向性

- 1 今ある施策は継続、拡充
- 2 新たに追加した取組
 - ①現在実施しているが記載されていなかったもの
 - ②新規取組

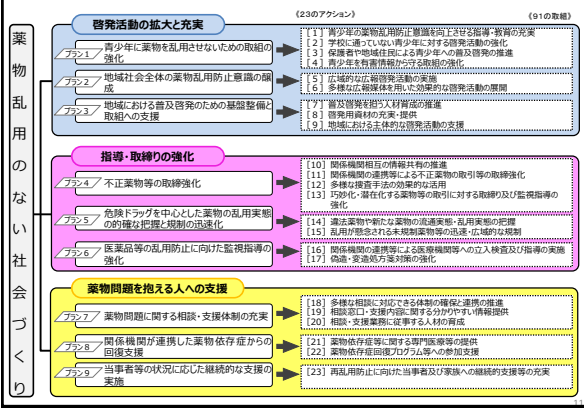
9

構成内容及び変更点

- 1 3本柱の順番変更
 - (改定前) ①指導・取締り ②普及啓発 ③再乱用防止
 - (改定後) ①普及啓発 ②指導・取締り ③再乱用防止
- 2 構成内容
 - ・3つの柱(指導・取締り、啓発、再乱用防止)
 - ・9つのプラン
 - ・23のアクション
 - ・91の取組

10

東京都薬物乱用対策推進計画(平成30年度改定)体系図



改定の主なポイント

- 1 若年層に対する大麻対策
小学校高学年から中学生向けの大麻に重点をおいた新たなDVD、リーフレットを作成
- 2 在留外国人対策
8か国語パンフレット
(日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、フィリピン語)
- 3 再乱用防止対策
薬物事犯者について、麻薬中毒者相談員を活用し、途切れることなく次の関係機関へ繋いでいく。
麻薬中毒者相談員は、麻薬及び向精神薬取締法第58条の18の規定に基づき、東京都の非常勤職員として任命されている。
麻薬中毒者相談員は、麻薬中毒者や向精神薬を乱用している者等に対し、相談に応じ、必要な指導を行い、これらに付随する業務を行っている。

12

前計画からの主な変更点（◎：新規取組 ○：既存事業の追記（代表例））

プラン	新規・変更する取組
プラン1 青少年に薬物を乱用させない	○ 大学生自ら薬物乱用について考える機会を創出するため、学内に設置されている 無料コピー機の用紙裏面 に掲載する 薬物乱用防止メッセージ を大学生から募集し、同世代の心に響く啓発活動を行います。
プラン2 地域社会全体の薬物乱用防止意識の醸成	○ 大麻・けし等に関するポスター、リーフレットやイベントでの企画展示等により、広く都民に対し、正しい知識を広く普及を図ります。
プラン3 普及啓発のための取組への支援	◎ 在留外国人や帰国子女などで、 日本語の習得が不十分な方 に対応した 動画、リーフレット 等の薬物乱用防止啓発用資材を作成し、理解の促進を図ります。 ◎ 青少年等 を対象に、 大麻をはじめとした薬物の危険性・有害性 に関する正確な知識を普及啓発するための 動画、ポスター、リーフレット 等を作成し、効果的な周知を図ります。
プラン4 不正薬物等の取締強化	○ 自生している「けし」や「大麻」について、不正な所持や栽培等がされないよう広く通報等の協力を呼びかけ、早期発見、抜去を図ります。 ○ インターネット等で不正流通する医療用麻薬や向精神薬等に対する取締り等を徹底します。

プラン7 薬物問題に関する相談・支援体制の充実	○ 濫用等のおそれがある医薬品の依存に関する相談に応じるとともに、医療機関、専門相談機関の情報を提供します。 ◎ 相談を担う関係機関が 研修 等の実施状況を共有し、 相互に活用 することで薬物問題等に係る知識を習得する機会の拡充を図ります。 ○ 刑の一部執行猶予制度 の施行に伴い、保護司が担当する薬物事犯者の保護観察対象者が多くなることが見込まれるため、各地区保護司会や更生保護連盟等が行う講習会等において、薬物乱用防止対策全般の研修を実施します。
プラン9 当事者の状況に応じた継続的支援の実施	◎ 保護観察が終了する薬物事犯者 に対し、断薬が継続できるよう 他の関係機関へ繋ぎ、途切れることのない継続的支援 を実施します。保護観察の終了が近い対象者に対し、麻薬中毒者相談員による相談、次の関係機関への紹介・同行を行うとともに、対象者と常時連絡が取れる体制をとります。 ◎ 保護観察が付かない執行猶予者や刑の終了者、医療機関退院後の患者等に対し、関係機関について紹介するとともに、継続的支援の実施に努めます。 ◎ 薬物依存症者等に対し、関係機関が連携して対応を行うため、関係機関一覧、連絡先、再乱用防止事業内容、連絡方法及び個人情報取り扱い等を記載した「 連携マニュアル 」を作成し、各機関が円滑に連携して支援を行っていきます。

2 東京都の取組

監視指導の強化

【乱用薬物の実態把握】

- ・ 試買調査、流通実態調査による流通実態の把握
⇒販売業者の実態調査を拡充し、デリバリー販売等、多様化する危険ドラッグの販売に対する監視指導を強化

【ビッグデータ解析による監視指導強化】

- ・ ソーシャルメディアのデータ解析によって流行製品の流通実態を的確に把握し、効果的な監視を実施

【監視指導の強化】

- ・ 関係機関との連携による立入検査
⇒警視庁等との連携による立入調査及び合同捜査
- ・ インターネット監視

啓発活動の拡大と充実

【啓発イベントの実施】

- ・ 「6・26国際麻薬乱用撲滅デー」都民の集い
- ・ 「麻薬・覚醒剤乱用防止運動」東京（都民）大会

【世代に応じた事業】

- ・ 薬物乱用防止教室・講習会（小中高高校生）
- ・ 薬物乱用防止ポスター・標語の募集（中学生）
- ・ 薬物乱用防止高校生会議（高校生）
- ・ 無料コピー機の用紙裏面を用いた広告（大学生）

【活動の支援】

- ・ 薬物専門講師の養成及び派遣、啓発用資材の貸出

啓発イベントの実施

「6・26 国際麻薬乱用撲滅デー」都民の集い

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動（6/20～7/19）の一環

- 令和元年6月23日（日曜日）
- 東京ドームシティ ラクーアガーデンステージ
◆ 式典、企画展示（パネル・薬物見本等）
◆ 啓発資料配布、国連支援募金活動 etc.

啓発イベントの実施



お笑い芸人ハマカーンによる撲滅宣言の様子

19

啓発イベントの実施



警察犬デモンストレーション（薬物搜索）



着ぐるみによる啓発活動



体験型アトラクション（クイズ、的当てゲーム）

20

啓発イベントの実施

麻薬・覚醒剤乱用防止運動東京大会

麻薬・覚醒剤乱用防止運動（10/1～11/30）の一環

●平成30年11月25日（日曜日）

●都民ホール

- ◆ポスター・標語の入賞作品の表彰
- ◆高校生会議の成果発表
- ◆啓発ポスター・入賞作品の展示
- ◆AMEMIYAさんによるトークライブ 外

21

啓発イベントの実施

麻薬・覚醒剤乱用防止運動都民大会

●令和元年11月24日（日曜日）

●都民ホール

- ◆ポスター・標語の入賞作品の表彰
- ◆高校生会議の成果発表
- ◆啓発ポスター・入賞作品の展示
- ◆きつねのステージショー 等



22

ポスター・標語の募集

実施主体：【主催】東京都福祉保健局

【共催】東京都薬物乱用防止推進協議会

【後援】東京都教育委員会

一般財団法人東京私立中学高等学校協会

対象：都内に在学・在住の中学生

目的：中学生に自ら問題意識を持たせ、各種啓発運動への積極的参加を促すとともに、入賞作品を啓発資材等に活用

選考方法：各地区事務局による地区選考（49地区）※及び東京都選考の二段階選考

※ 東京都が地区選考を行う島しょ地区を含む。

23

ポスター・標語の募集

【地区選考】

各地区事務局が、地区会長賞（※）及び佳作を決定
地区会長賞入賞作品は、東京都選考に推薦

ポスター応募作品数	1～200	201～400	401～600	601～800
地区会長賞	1作品	2作品	3作品	4作品
標語応募作品数	1～500	501～1000	1001～1500	1501～2000
地区会長賞	1作品	2作品	3作品	4作品

※島しょ地区は最優秀賞

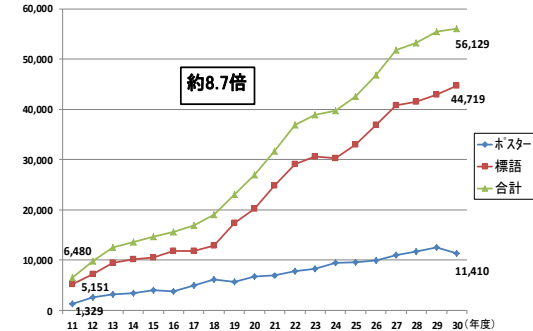
【平成30年度応募・選考状況】

部門	応募作品数	東京都選考
ポスター	11,410	最優秀作品 各1 優秀作品 各3
標語	44,719	優良作品 各5

24

ポスター・標語の募集

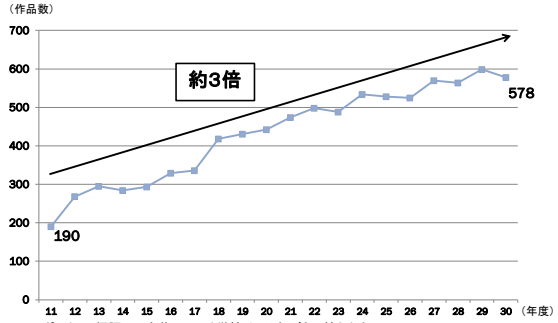
【ポスター・標語応募作品数の推移】



25

ポスター・標語の募集

【ポスター・標語応募学校数の推移】



※ ポスター・標語両方応募している学校は、それぞれ1校とカウント

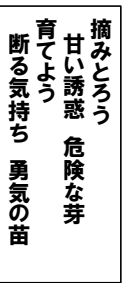
26

ポスター・標語の募集

【平成30年度東京都選考最優秀作品】



東久留米市立下里中学校
3年 勝又 洸太さん



藤村女子中学校
2年 諸川 由奈さん

27

薬物乱用防止高校生会議

- 毎年、都内高校2校を選出し、1年を通じて高校生が自ら薬物乱用防止について考え、これをメッセージとしてまとめ、同世代へ向け発信する
- 成果発表や薬物乱用防止リーフレットの作成を行う



高校生会議成果発表

28

薬物乱用防止高校生会議



平成30年度作成リーフレット

- 薬物乱用防止高校生会議に参加した高校生が中心となって作成したリーフレットです。表紙や挿絵は全て生徒さんの手作りになっています。

平成30年度参加校
・都立八王子拓真高校
・都立富士森高校

29

薬物乱用防止活動率先校

- 対象：薬物乱用防止活動に熱心に取り組む学校
- 目的：薬物乱用防止への継続した取組及び他の学校の活動への参加意欲の向上の促進により、薬物乱用のない社会づくりに寄与
- 選出基準：
・全校生徒数に対する応募作品数の比率が高い中学校（ポスター部門25%以上、標語部門80%以上）
・薬物乱用防止高校生会議参加校
- 実施内容：公表、表彰状の贈呈
- 実績：【ポスター部門】 51校
【標語部門】 91校
※うち両部門該当 14校
【薬物乱用防止高校生会議参加校】 2校

30

無料コピー機用の用紙裏面広告

- 対象:** 都内の大学に通う**大学生**
- 目的:** 薬物に対する大学生の意識を集約するとともに、東京都の普及啓発に若者の視点を加味した効果的な普及啓発を実施
- 開始年度:** 平成27年度
- 実施内容:**
- ・コピー用紙の裏面に広告等が印刷された用紙を使うことにより、学生が無料でコピーできる民間のサービスを利用
 - ・薬物乱用に関する意識について、アンケートを実施
 - ・大学生から同世代への薬物乱用防止メッセージを募集し、メッセージ等をコピー用紙裏面に印刷、配布

31

無料コピー機用の用紙裏面広告



令和元年度大学生による
薬物乱用防止メッセージ

令和元年度実施実績:

【アンケート回答者数】

520人

【メッセージ応募者数】

348人

【対象大学数】

都内45大学

(52キャンパス)

【配布部数】

25,000枚

※ アンケート及びメッセージの募集対象は、無料コピーサービスを利用している全国の大学生

32

啓発資材リーフレット

- ・都民を対象に無料で配布。薬物乱用防止講習会、イベント等の啓発活動に活用している。



高校生用



中学生から
一般都民用



小学校高学年から
中学生用



海外旅行者向け
リーフレット



危険ドラッグ
リーフレット

ポスター・標語最優秀作品を掲載

33

普及啓発用資材

STOP! 薬物乱用 ～断る勇気～



若い世代を対象として作成。薬物の種類、友人や知人から誘われたときの断り方について紹介しています。
(平成29年度作成)

リーフレット

サイズ: A4版

◀表画

裏画▶

DVD

対象年齢: 高校生から30代

本編 (18分) とスポット動画 (15秒、30秒、60秒) を収録。

講習会やイベント等に幅広く活用できます。

34

啓発資材の貸出し



「ダメ。ゼッタイ。」君



ダメ。くま君



のぼり旗

35

ご清聴ありがとうございました